

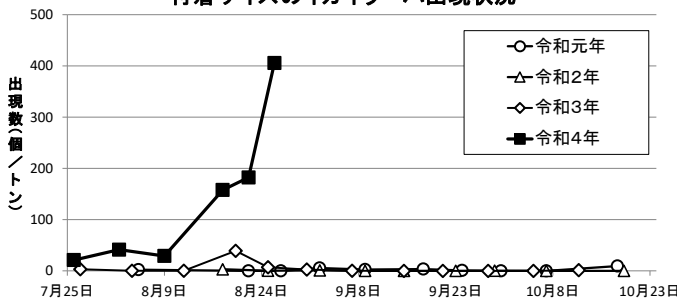
◎サロマ湖付着生物ラーバ出現状況

サロマ湖 4 地点で付着生物のラーバ調査を行った結果、イガイ(シュウリガイ)ラーバは平均で1,531個/トン出現しており、250~270 μmの大型個体が最も多く見られました。付着サイズのラーバは406個/トン出現しており、地点によりばらつきがありますが前回よりも大幅に増加していました。

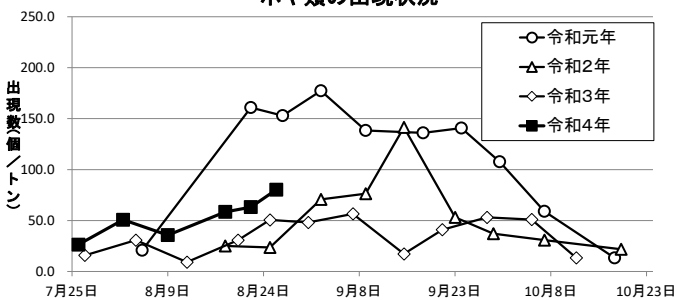
ホヤ類(エボヤ、ユウレイボヤ、ザラボヤ)のラーバは80個/トン出現しており、前回よりもやや増加していました。

次回は30日(火)に実施予定です。

付着サイズのイガイラーバ出現状況



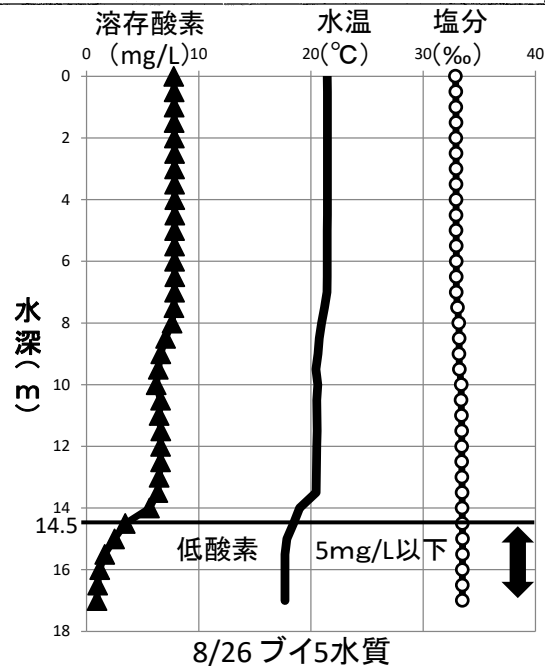
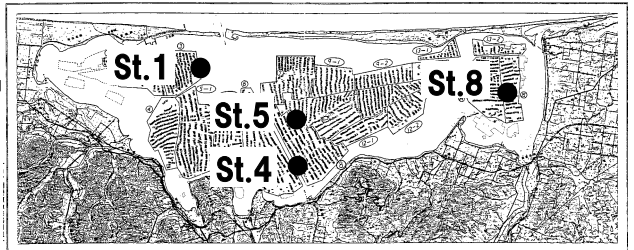
ホヤ類の出現状況



イガイラーバの出現状況

	St. 1	St. 4	St. 5	St. 8	平均
140 ~ 150	0.0	11.3	43.8	11.3	16.6
150 ~ 160	108.6	45.3	0.0	56.6	52.6
160 ~ 170	36.2	56.6	14.6	67.9	43.8
170 ~ 180	217.3	45.3	43.8	22.6	82.3
180 ~ 190	253.5	34.0	73.0	67.9	107.1
190 ~ 200	217.3	113.2	43.8	34.0	102.1
200 ~ 210	289.7	11.3	58.4	11.3	92.7
210 ~ 220	181.1	67.9	87.6	34.0	92.6
220 ~ 230	108.6	34.0	116.8	22.6	70.5
230 ~ 240	217.3	45.3	175.2	90.5	132.1
240 ~ 250	362.2	34.0	131.4	11.3	134.7
250 ~ 260	507.0	22.6	219.1	45.3	198.5
260 ~ 270	434.6	34.0	262.9	34.0	191.3
270 ~ 280	72.4	22.6	189.8	34.0	79.7
280 ~ 290	72.4	22.6	219.1	22.6	84.2
290 ~ 300	36.2	0.0	131.4	34.0	50.4
合計	3,114.6	599.8	1,810.8	599.8	1,531.3
200 μm以上	2,281.6	294.3	1,591.8	339.5	1,126.8
	73.3%	49.1%	87.9%	56.6%	73.6%
260 μm以上	615.7	79.2	803.2	124.5	405.6
	19.8%	13.2%	44.4%	20.8%	26.5%
ホヤ類	29.4	165.6	76.7	49.5	80.3

付着物ラーバ関連調査地点図



◎サロマ湖水質状況

8月26日に湖内中央部ブイ5の水温(°C)、溶存酸素(mg/L)、塩分(‰)を測定しました。

その結果、水温は全層で22°Cを下回っていました。

溶存酸素は底から水深14.5mまでで5mg/Lを下回っていました。

塩分は全層で33‰以上ありました。